

科目名	ナレーションⅡ						年度	2026	
英語科目名	Narration Ⅱ						学期	後期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	田中由香	教員の実務経験		有	実務経験の職種		声優		
<b>【科目の目的】</b> 様々なジャンルのナレーション原稿を使って、状況に応じた読み方を実践する。観客に聞かせるリーディング公演を意識した朗読を実践する。									
<b>【科目の概要】</b> ナレーションやドラマリーディングなどの原稿を用いて、声の表現力を学ぶ。									
<b>【到達目標】</b> 言葉を使って「伝えること」の難しさを知り、さらに自らの課題を見つけ常にチャレンジし続けることを習慣化させる。									
<b>【授業の注意点】</b> 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	聞き手に情景が見えるような読みができる。		自身が情景を浮かべながら読む事ができる。		文字を読んでいるだけで情景を浮かばせる事ができない。				
到達目標 B	キャラクターがわかる表現ができる。		地の文と台詞を分けて表現することができる。		地の文と台詞を分けて表現することができない。				
到達目標 C	声の音量をシーンに合わせて変化させ、観客に臨場感を与えることができる。		自分なりに声の音量をシーンに合わせて変化させることができる。		声量のコントロールができない。				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 使用する台本はその都度配布する。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ナレーションⅡ			年度	2026
英語表記		Narration Ⅱ			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	朗読劇制作実習 1	役決め	1 台本読み	作品を分析し理解する	2	
2	朗読劇制作実習 2		1 キャスト決め	自身の考えた表現を行う		
3	朗読劇制作実習 3	朗読劇練習	1 朗読劇制作	他のキャストと共に表現しながら作品の理解を深める		
4	スタジオ実地練習 4		1 朗読劇制作	他のキャストと共に表現しながら作品の理解を深める		
5	スタジオ実地練習 1		1 客観的に聞く	収録し、声の表現を客観的に聞く		
6	朗読劇制作実習 5		1 朗読劇制作	スタジオで確認した表現を調整する		
7	朗読劇制作実習 6		1 朗読劇制作	発表に向けて、立ち位置を確認する		
8	朗読劇制作実習 7		1 発表	観客の前で発表する		
9	声の表現 2		収録に向け、表現を調整する。	1 整理		
10	スタジオ実地練習 2 /まとめ	1 年間の集大成を作成する。	1 収録	朗読劇を収録する		
11						
12						
13						
14						
15						

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等